

日本初の SANE 養成講座

SANE (Sexual Assault Nurse Examiner : 性暴力被害者支援看護職) は 1976 年代後半に米国テネシー州メンフィスなど 3 ヲ所で始まり、以来米国各地およびカナダに広まった看護専門職です。

NPO 法人 女性の安全と健康のための支援教育センターでは、日本での SANE 普及を目指し、カナダ・ブリティッシュコロンビア州で実施されている SANE 教育プログラムをもとに日本向けプログラムを開発しました。看護師・助産師・保健師が対象で、アメリカ・カナダと同様に 1 年間 40 時間の講座に参加して頂きます。

現在、アメリカには SANE トリートメントセンターが 700 ヲ所、世界の 26 ヲ国で SANE が活躍しています。(2018 年 1 月)

お問い合わせ／申し込み方法

SANE 養成講座は、支援教育センターの研修講座 A コースを修了された女性の看護師・助産師・保健師の方を対象とします。上記以外の医療職の方はご相談ください。

詳しくは、以下をご記入の上、メールまたはファックスで研修講座の資料を請求してください。

- ・おなまえ ・職種 ・所属 ・年代
- ・ご住所
- ・メールアドレス (ファイル添付 可能 不可)
- ・電話／ファックス番号
- ・関心をもった理由など

支援者のための研修講座 A B C

NPO 法人女性の安全と健康のための支援教育センターでは、SANE 養成講座のほか、暴力や虐待の被害にあった女性や子どもの支援者を目指す方、現在支援をしている方に向けて、最新の情報を含む講座を実施しています。それぞれ年 3 回、2 日間ずつ 6 日間のコースです。

A コース どなたでもご参加いただけます。

B コース A コースを修了された方が対象です。

C コース 「コーディネータ養成講座」 A コース全期 + B コース全期を修了された方、または A コース全期 + SANE コースを修了された方が対象です。

*詳しい内容は、研修講座資料をご参照ください。

特定非営利活動法人
女性の安全と健康のための支援教育センター

F A X : 03-5684-1412
e-mail : shienkyo@vega.ocn.ne.jp
<http://shienkyo.com>

Sexual Assault Nurse Examiner
SANE

性暴力被害者支援 看護職 養成プログラム

FAX : 03-5684-1412

<http://shienkyo.com>

SANE は……

心身に傷を負った性暴力の被害者に適切なケアを提供するための訓練を受けた、女性の看護師・助産師・保健師です。健康障害の背後にある暴力被害の可能性に気づき、適切に対応することができます。

警察や医師、相談員等と連携・協力して働くことで二次被害を防いだり軽減することができます。

迅速で適切なケアにより、被害者の回復を早めることに貢献できます。

被害者の意思に応じて、告訴など法的手続きに備え、本人に説明し同意を得ながら証拠を採取し、記録を残します。

性暴力＝強姦・性的虐待・セクシュアル・ハラスメント・DV－は被害にあった人の身体だけではなく、こころの健康にも重大なダメージをあたえ、人生に大きな影響を及ぼします。

研修の目的と目標

1. 性暴力被害の実態を理解できる
2. 性暴力が個人に及ぼす影響を理解できる
3. 被害に遭った人への支援の原則と基本が理解できる
4. さまざまな立場、職能の支援者と協力しながら支援することができる
5. 支援者自身の安全と健康を維持することができる
6. 支援にかかわることで、医療とケアの質の向上に貢献できる

性暴力にあった人により医療は、すべての人にとってよい医療

プログラム概要

年 3 回、2 日間ずつ

トータル 40 時間の研修です

例例) 2018 年度のプログラム (2018 年 7 月ー 2019 年 2 月)

1 期 7 月 14 日 (土) 15 日 (日)

SANE の役割と課題

法看護の実際 / I A F N とは

ワーク：差別の感覚

女性の権利と健康

医療者が知っておくべき支援の原則

被害者の理解：社会編

DV 相談機関の活用

様々なトラウマの影響に対する取り組み

ワーク：看護の実際 ①

2 期 11 月 10 日 (土)・11 日 (日)

保健医療対応：子どもの性暴力被害編

ワーク：対人援助の質を高める

保健医療対応：産婦人科編 - 妊娠、性感染症

性暴力被害の急性期看護の基本

保健医療対応：法医学編 - 創傷記録

ワーク：看護の実際 ② ③

3 期 2 月 9 日 (土)・10 日 (日)

私たちにできる連携 ①

保健医療対応：精神科編 - PTSD とそのアプローチの実際

ワーク：私たちにできる連携 ② ③

保健医療対応：地域行政編 - 被害者相談と他機関連携

二次受傷、感情労働、セルフケア

性と法律

支援の継続と発展

年度により日程、プログラム内容・講師などは変更されます。原則として支援教育センターの研修講座 A コースを修了された方が対象です。